



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU
 NAGOYA 460 JAPAN



国際会長標語 Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」
 アジア会長標語 Friendship & Peace Forever 「友情と平和を永遠に」
 西日本区理事標語 「Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」」
 中部部長標語 「今こそ地域へ伸びようYワイズ」
 クラブ会長標語 「地域とともに」 広げようワイズの輪

1998年 8月号

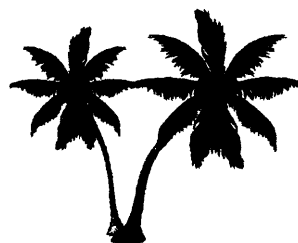
＜今月の聖句＞

主に逆らう者は、借りたものも返さない。主に従う人は憐れんで施す。神の祝福を受けた人は地を継ぐ。神の呪いを受けた者は断たれる。主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。人は倒れても、打ち捨てられるものではない。主がその手をとられていてくださる。若いときにも老いた今も、わたしは見ていない主に従う人がすてられ子孫がパンをこうのを。

使徒 第26章16節



田誠さんの送別会に刻



とき：8月11日（火）18時30分より
 ところ：名古屋不二パークホテル （地下鉄東山線栄駅徒歩2分）
 TEL：052-962-2289・名古屋市中区錦3丁目15番30号

一泊例会報告

日時／7月11・12日

- 一部：津ヨットハーバーにて
- 二部：夕食・役員引継
（4時から21時）サリア伊賀
- 三部：時期中部部会について
（9時から）
- 四部：今年度方針（7月12日朝）



中部部会実行委員会よりこ れまでの報告

7月の1泊例会にて第1回99年度中部部会実行委員会を開催し、グランパスクラブ全員の忌憚のない意見交換が出来たと思います。そこでの大筋の意見は下記の様に思われます。

- 1、今までとは違つた中部部会の進行や流れを変えて、グランパスらしい大会としたい。
- 2、グランパスらしさとは、女性会員のアピール、メネツト・コメントを交えたファミリー的な活動、今までの部会の型ちにこだわらない自由な発想。
- 3、事務的、パーティ的な部会よりも、YMCAの関りを改めて認識するものでありたい。等

いろいろな意見を聞くことが出来ました。この意見を元に7月14日に第2回委員会をYMCAにて行い、前回の皆さんの意見をより深く掘り下げ更なる意見交換をした結果、委員会として中部部会に対する大まかな概念を形作ることが出来たように思われます。

7月14日における総まとめ、委員会での大会の統一イメージ

- 1、YMCAとの関りの問題の中で、あえて部会の会場をYMCAでやることにより、Yに来てもらいワイズとYとの関係を今一度原点に戻って考える。
- 2、メネツト、コメントはじめ家族が参加できる、また家族を中心とした大会。
- 3、参加費を極力抑える。部会という地域的枠組みの中で、手作り感覚の部会を造っていく。
- 4、各クラブ(ワイズ)、にプログラムを担当していただく。
- 5、場所：名古屋YMCAにて大会を開く。1階、2階、体育館、AVホール等を使用。
- 6、バザー、学園祭、文化祭的なイメージ(模擬店を含む)リーダーにも参加要請。
- 7、日時：1999年8月22日(日)
場所：名古屋YMCA

以上のように報告いたします。尚、委員会での詳細な意見は委員会報告書(書記：井川所持)を参考にしてください。

井川 幸吉

イギリス通信 (No 1)

なぜ?

この度英国に赴任することになりました。予定としては9月の始めからですがこのところ毎月いたりきたりワイズ例会やYMCAの活動には欠席がちで迷惑をおかけしています。

さて、あまり若くもない私がなぜ今英国へいくことになったのでしょうか?最近ダイムラーベンツとクライスラーが合併するというニュースが新聞紙上を飾ったことを覚えておられるかたもいらっしゃるのではないかと思います。世界では今大きな企業のグループ化が進んでおり一つの市場で最終的にはせいぜい数社または、限られたグ

ループしか生き残れないのではないかとわれています。日本だけ見ますと未だ自動車メーカーもたくさんあり、日立、東芝、三菱というように同じような形で何でもやっている会社が存在していますので不思議な感じがしますが、実は日本の状態がむしろ異常であったといえ、最近の日本の私がつとめています会社は自動車のエンジンの部品を作っていますが、この市場ではすでに日本で2社、世界でもせいぜい5社くらいでしかメーカーがない状態になっています。エンジン部品には乗用車やトラック用のほか、船や発電機ようのもっと大出力のものが有りこのためのものを作る会社は当社を含めて世界で数社という、さらに極端な状況にあり国内、国外というような区別は難しくもはや世界を一つの市場として考えざるを得ない状態です。このような中で当社もいわばライバルでもあった英国の会社と、その子会社のフランスの会社を含めた合弁会社を作り、技術や販売面でのこ入れをし欧州市場へ直接進出することを決断しました。したがって合弁会社全体をこれからどう運営していくか決めて行くことになるため、その責任者として行くことになった訳です。‘人のやらない事をやる’のが私のモットーですが今回ばかりは少し正直なところ心配もあります。しかしながらこの年でまた新しい体験、経験ができることは感謝すべき事であるかもしれません。

幸い今回グランパスのプリテンに何か連載を書くようにとのご指示がありました、これからのわたしの英国での生活の中で感じた事、失敗、珍聞、異説などなどご期待に沿えるかどうか分かりませんが一つの励みとして書かせていただくことにしました。どうぞよろしくお願ひします。

吉田 一誠

HAPPY BIRTHDAY

メンバー 7日 吉田一誠 8日阿部一雄
13日 木野村映 22日加藤道子
24日 吉田正 30日佐藤壽晃
コメント 30日 吉田りゑ子

1998年8月例会のご案内

◎日和田高原火祭り

とき：8月1日(土)

◎日和田高原ファミリーキャンプ

とき：8月13~15日(木~土)

担当：坂倉洋まで連絡

◎第二例会

とき：8月25日(火)19時より

ところ：名古屋YMCA 407号

◎中部部会

とき：8月29日(土)

ところ：花水木

ヨット&バーベキュー(ファミリープログラム) 7月11日

上野の一泊例会の前にファミリープログラムが津で行われました。この日はあいにく朝から小雨がパラパラ、このあとどうなるのかしらと心配しながら名古屋を出発、津に到着してまずは早川号と藤田号の2漕のヨットに乗り出港しました。ヨットははじめての我が家の息子と娘は船酔いがちょっと心配でしたが、この日伊勢湾の波はおだやかで、お天気の良い分、海が気をつかってくれたようです。

海上にはヨットスクールの練習の様子が見え、上手に帆を操る姿に感心しました。2時間ほどの大海原でのセーリングを楽しんだところで、雨が強くなり急いで港に戻りました。

ヨットハーバーのレストハウスでは急きょ参加いただいた津クラブの藤田前中部部長と安部ワイズ(このヨットハーバーにお勤めだそうです。)も交えて、バーベキューの準備がはじまっていました。坂口さん自慢のシーフード料理で、サフランいっぱいのパエリヤ、いかのスパゲッティ、サラダ等、みんな満足満腹で今夜の夕食が入らないのではとすこし不安になりました。

服部 智子

「ゆ〜れ〜え〜るう〜。」

ヨットに乗って動いてない時からこの状態。

動き出してからは、船酔いが怖くて携帯ラジオを聞きっ放し。でも、しばらくすると慣れてきて、お父さんの乗ったもう一方のヨットを深したり。＼(・O・)／(絶対追い越しちゃう!!などと考える。)

港に戻って、バーベQをしたんだけど「ぱえりや」のサフランの量がとてつもなく多い。サフランて高いんでしょ。「一体いくらなんだろう?(¥o¥;)」と、味ではなく値段を考えるわたし…(^o^;)とにかく、楽しかったし、おいしかったからよかった。

(終わり良ければすべてよしという考え…)

服部あすか



ヨットに乗って最初に僕は、普段から乗り物酔いをよくするものだから、「船酔いをしないかどうか心配だな。」と思った。そんな心配も交えつつヨットが進みだすと、思ったほど激しくなかった……というよりもほとんど揺れていなかったのも、心配していた事は知らないうちにどこかへ行ってしまった。

途中、運転させてもらえる機会があったのでやってみた。舵を少しだけ右の方へ傾けてみるだけで、ググツとヨットの向かっている方向が右の方へ傾いていってしまうので最初は驚いたけど、慣れると向きを決めることくらい簡単だった。

ヨットが終わって戻ってみると、バーベキューの準備がすでに始まっていて、僕も準備をする事になり、海老の皮剥きをした。準備が終わり食べ始めて少したってみると、なんと!!パエリヤがあるじゃないか!これに驚いた僕は眺びつくようにそこへ行き、結局山盛り二杯も食べてしまった。うまかった〜あ。

ヨットに乗る事もでき、パエリヤも食べる事ができた僕はとても満足する事ができた。

服部 圭三

第二部

以外に近かった宿泊場所。そして服部会長の選定した宿。個室に浴室・バス・トイレ・テレビ・ゆかた・歯ブラシ・ポット・冷蔵庫つき。大浴場にはサウナありの服部好みの立派な宿でした。夕食も食前酒・前菜からはじまり、豪華絢爛、そしてデザート・コーヒー付。夕食後、昨年度事業報告・会計報告・新入会員紹介等がわきあいあいの中にも完璧に行われました。昨年度のファンド貢献No.1に坂口兄がなりニコボックスにも多額のファンドをいただき「今年も頑張って目標〇〇万円」との言葉をいただきました。

第四部

朝の気持ちのよい早朝散歩のあとおいしい朝食をいただきました。

9時より会議を開催し、服部会長より「関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕の実践を心がけ…。『地域と共に広げようワイズの輪』」という方針が発表され、了承されました。各役員より、

EMC…ゲスト名簿の作成 メンバー純増目標5名

IBC…今年度はDBCを。藤田姉をメンバーに。

CS:BF:TOF…田中兄をメンバーに。

プログラム…毎月1回ファミリープログラムを。

ファンド…目標30万

の発表があり、11時45分予定どおり終了。記念撮影のあと昼食をとり解散となりました。

